

2017年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



教室だより 2月号

立春

新2月4日は二十四節気のひとつ、「立春」です。でも、必ずしもこの日と決まっているわけではなく、太陽の角度によつては、2月3日にずれてしまう年もあるようです。

立春は二十四節気のはじめの節。旧暦では、この日が春の始まりで、立春から立夏（5月5日頃）の前日までを春といい、立春が新しい年のスタートだとされていました。今でもお正月に「新春」「迎春」などの表現を使うのは、そのなごりのようです。

また、立春を基準にさまざまな決まり事や節目があり、立春から数えて88日目を「八十八夜」といって茶摘みをする目安にしたり、210日目を「二百十日」、220日目を「二百二十日」といって、台風などを警戒する日にしていました。

このように、立春は1年の始まりであり、冬と春を分ける節目の日でした。そして春が始まる日の前日、その節分けをするための日が節分です。すなわち、節分は大晦日と同じ意味合いがあるのです。

新しい年の始まりに向けて、「厄払いをしたい」という思いから、節分には豆まきをしたり、柊鰯（ひいらぎいわし）を飾ったりしているのです。

こういうことがわかったと、立春・節分が1年のうちでも大事な節目である気がしてきますね。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“教育に手おくれということはありません”

「語のこばなしに「手おくれ医者」というのがあります。その医者は、患者が来ると、まず「これは手おくれだな」ということにしています。そういっておけば、下手な治療で患者が亡くなっても「手おくれだったから」といういいわけもできるし、病気がなおったら「あの先生はえらい」ということになって、どちらにころんでも損にはならないからです。ところがある日のこと、運ばれてきた患者を診て、「これは手おくれだな」といつものようにいったところ、患者を運んできた人が、「いや、この男はたった今、となりの屋根から落ちたばかりで」というのです。そこで、その医者は、「それなら屋根から落ちる前につれてこなくてはいかん」といったという、こばなしです。

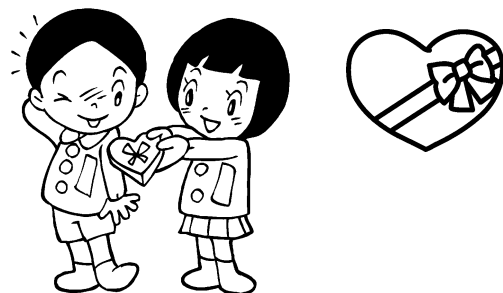
親や教育者が、この手おくれ医者のような目で子どもを見てしまうと、今現在学力の低い子どもは、何の可能性もないことになってしまいます。親や教育者が手おくれと判断することは、その子どもの可能性を否定することであり、人間性を無視することでもあるのです。そのようなことがあってはなりません。どんな子どもにも伸びていく可能性があり、教育に手おくれなどけっしてないのですから。

2017年 2月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 花開きの日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

本市場教室日□

横割教室日△



様

公文式本市場教室 火・木 3～7時 ☎186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3～7時 ☎61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

ゆき子の一言コラム

～お子さんの成績アップのために～

ゲームやテレビの時間を制限する

最近の子どもにとって、電子ゲームで遊ぶことは当たり前のことです。友だちとの話題の中にも、ゲームに関することが数多く登場します。とはいえ、家庭で際限なくゲームで遊ぶ時間を費やしていたら、大切な勉強や読書に当てる時間はなくなります。

ということで、たいていの家庭では、ゲームやテレビをある程度制限しているでしょう。しかし、子どもにとっては、楽しいことはいつまでも続けようとし、続けたいわけですから、どこかで『我慢』を強いられるわけです。素直に聞くとときばかりではありません。時にバトルも起こります。

それなら、完全に禁止すればよい、という考えもできますが、実際は難しいことです。親が強権発動して、「全面禁止！」を貫くことができれば、確かに子どもはそれに従うことかも知れません。

しかし、友だちがみなやっていることを、禁止してしまうことは、どの親にも抵抗があることでしょう。ですから、実際は、時間制限をかけることになります。

私は、子ども（小学生）がゲームをしたり、テレビを見たりする時間は、せいぜい一日あたり一時間程度ではないかと思います。

「えっ、そんなに少ないの？」

と思われたお母さん方いらっしゃいませんか。

子どもにはそんなにたくさんの時間はないのです。

学校から帰宅して、宿題を始めとした勉強を行い、少し遊んで、夕食を食べて、お風呂に入って、寝るまでの時間、どれだけの時間があると思われますか。

一度、子どもの生活パターンを一週間くらい一覧表にしてみるとよいでしょう。

そうすることで、子どもたちに与えられている自由な時間は、かなり少ないことがわかるはずです。

子どもにとっての貴重な、そうした時間のほとんどをゲームをしたり、テレビを見たりすることで過ごしてしまうことは、大変もったいない時間の使い方なのです。

確かにテレビには教養番組もあり、それを見ることで、普段できない経験を共有できます。

しかし、子どもたちが好んで見る番組は、そうしたものではないはずです。

人気のアニメやバラエティです。それに、テレビを見ることによって得られる知識量は、読書をするることによって得られる知識量の六分の一程度であると言われています。ですから、テレビを見せるのであれば、本を読ませた方がいいのです。

子ども部屋があって、自由にテレビが見られる、好きな時間にゲームができる…という環境は、子どもにとっては一見、幸せかも知れませんが、実は、少しずつ少しずつ、子どもの首を締めつけていることになります。

ゲームを続け、バーチャルの世界に使うことへの弊害も叫ばれています。

勇気を出して、ゲームやテレビの時間は制限してください。

「宿題を終えるまではテレビを見てはいけません」

「ゲームは一日〇分だけ」

言い方はいくらでもあります。しかし、そういう中にも、子どもに説得力を持たせてください。

「なぜなのか…」ということを家庭ではっきりと説明し、主張してください。

それが、子どもの心を揺り動かします。どうしても、説明がつかなければ、「これが家の方針です」でも構いません。

自分で時間の使い方をコントロールできる子どもは賢いのです。

そうさせるためにも、まずは、家庭で制限を加え、そしてそれが自分でできるようにしなくてははいけません。

そして、自分で時間の使い方を考えられ、計画を立てて実行できるように導くのです。

お休みのときは、電話でも携帯メールでも結構ですので連絡をお願いします。2月分の会費引き落としは1月30日(月)です。よろしく願いいたします。(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までに申し出下さい。お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。